

# BACH

Johann Sebastian Bach  
1685~1750

「バッハアカデミー関西」教会暦によるカンタータシリーズ [第38回]

## Kantaten: Sonntag nach Trinitatis 三位一体節後のカンタータ

バッハがトーマス・カントールに就任して発表した  
第2作目にあたるカンタータ第76番「天は神の栄光を語ります」は、  
壮麗な合唱が印象に残る、バッハの名前の数である14楽章からなる意欲作です。  
この作品を中心に教会の暦にあわせて「三位一体節後」の主日のために書かれた作品を集めて演奏いたします。

カンタータ第20番「おお永遠、雷の言葉よ」

Kantate Nr.20 "O Ewigkeit, du Donnerwort!"

カンタータ第76番「天は神の栄光を語ります」

Kantate Nr.76 "Die Himmel erzählen die Ehre Gottes"

カンタータ第135番「ああ主よ、哀れな罪人である私を」

Kantate Nr.135 "Ach Herr, mich armen Sünder"

カンタータ第185番「永遠の愛をもつ憐れみの心」

Kantate Nr.185 "Barmherziges Herze der ewigen Liebe"

2013年 **6/16** [日]

午後 5:30開場 午後 6:00開演

京都文化博物館・別館ホール (裏面地図参照)

〈前売り〉一般 ¥3,000 学生 ¥1,500

〈当日〉一般 ¥3,500 学生 ¥2,000

〈前売り・当日共に自由席・税込み〉

●主催=バッハアカデミー関西

演奏: バッハアカデミー関西  
Bach Academy KANSAI

管弦楽: 大阪チェンバーオーケストラ

合唱: 京都バッハ合唱団

指揮: 本山 秀毅 Hideki Motoyama

ソプラノ: 木澤 佐江子

アルト: 船元 泰子

テノール: 真木 喜規

バス: 萩原 寛明

◆チケット・お問い合わせ/バッハアカデミー関西 TEL: 075-211-2373 (伊藤)

※ファックスでのチケットのお申し込みは、「バッハアカデミー関西6/16チケット申し込み」と  
タイトルを入れて、お客様のお名前・お電話番号とご希望の枚数を明記の上、  
FAX: 075-231-3781までお送りください。チケットは当日代金引換えとなります。

※ホームページからお申し込みができます。

<http://web.kyoto-inet.or.jp/people/bachchor/>

※チケットの料金には消費税が含まれています。未就学児童のご入場はご遠慮ください。

*Bach*  
Academy Kansai

バッハアカデミー関西



## Kantaten: Sonntag nach Trinitatis 三位一体節後のカンタータ

### バハアカデミー関西

「バハの音楽の宝庫」ともいえる教会カンタータの数々。「バハアカデミー関西」ではこれらを教会の暦にあわせて主題ごとに連続して演奏する「カンタータシリーズ」をバハ没後250年の記念であった2000年より始めた。このシリーズのために、大阪チェンバーオーケストラと京都バハ合唱団が「バハアカデミー関西」を設立し、アカデミックかつ親しみのあるアプローチを通して、これらの分野における新たな地平を拓き、関西の音楽界をリードしていく演奏団体を目指している。

**京都バハ合唱団** Kyoto Bach Chor <http://web.kyoto-inet.or.jp/people/bachchor/index.html>

1988年に本山秀毅の主宰により創設された「京都バハアンサンブル」を前身に、2000年に「京都バハ合唱団」と改称。バハを中心とする教会音楽の多角的な演奏活動を展開している。「バハアカデミー関西」の構成団体として、解説を伴った演奏会形式「ゲシュプレヘスコンツェルト」による「教会暦によるカンタータシリーズ」は38回を数えその活動の中核をなしている。1991年1998年には、同志社栄光館において、ライプツィヒ聖トーマス教会のベッツォルト教授の協力を得て「バハ時代の歴史的礼拝式の復元」に取り組んだのはじめ、合唱指導者の研鑽を目的としたコーラスワークショップを開催するなど、演奏会の枠を超えたユニークかつアカデミックな活動を展開している。

1995年戦後50年を記念するオレゴン・バハフェスティバルへ招聘されドイツ、アメリカの演奏家とともにブリテン「戦争レクイエム」を演奏したのははじめ、3度にわたるヨーロッパ演奏旅行のなかでも、2002年にはライプツィヒバハフェスティバルに招聘され、トーマス教会でバハのミサ曲を演奏したことは特筆に値する。1996年にはフライブルク声楽アンサンブルとのジョイント演奏会を行い、また2011年にはザクセン声楽アンサンブルとのジョイント演奏会に参加するなど海外の演奏家との交流も活発に行っている。2000年10月に行われた特別演奏会「マタイ受難曲」は高い評価を受け、大阪府文化祭奨励賞を受賞した。

**大阪チェンバーオーケストラ** Osaka Chamber Orchestra

1976年、関西室内楽協会を設立以来、島之内教会での月例チャペルコンサートを開催。2006年11月300回記念演奏会を迎えた。現在366回を数え、継続中。

小林道夫氏、インゴ・ゴリツキー氏、など内外の名演奏家と数多く共演、特に金昌国氏との「モーツァルト交響曲全曲演奏」シリーズは37回を超える。また、京都バハ合唱団とのバハ教会カンタータ全曲演奏会も38回を数え、2002年、ドイツライプツィヒでのバハフェスティバルに招聘された折の演奏は高く評価された。2007年2月の設立30周年記念演奏会でのJ.S. バハ「マタイ受難曲」の公演は高い評価を得た。バハのカンタータやオラトリオなどの演奏には定評があり各地の合唱団との共演も多い。1989年、大阪市「咲くやこの花賞」受賞。



指揮：本山 秀毅

京都市立芸術大学音楽学部卒業。フランクフルト音楽大学合唱指揮科卒業。帰国後はバハを主とする教会音楽を中心に演奏活動を続ける。「バハアカデミー関西」を設立し、「教会暦によるカンタータシリーズ」によりバハの声楽作品の全曲演奏に取り組んでいる。1995年にはオレゴンバハフェスティバルに、また2002年5月にはライプツィヒバハフェスティバルに招聘され、バハのミサ曲などを演奏し好評を博した。また一般、大学合唱団の客演指揮者、合唱指導法などの講習会の講師、全日本合唱コンクールをはじめとするコンクールの審査員として合唱音楽の普及にも努めている。同時に関西におけるプロ合唱団とオペラ作品の合唱指揮にも活躍している。第15回藤堂音楽奨励賞、2001年度京都市芸術新人賞受賞。

指揮をヘルムート・リリンク、ヴォルフガング・シェーファー、ウベ・グロノスタイの各氏に師事。

現在、大阪音楽大学教授。びわ湖ホール声楽アンサンブル、大阪センチュリー合唱団専任指揮者。京都バハ合唱団主宰。

### 「バハアカデミー関西」友の会会員募集中

●特別会員：年会費一口1万円・主催演奏会すべてにご招待（一口につき1名様）

●DM会員：年会費無料・演奏会案内送付

【お問合せ・お申し込み】事務局TEL.075-211-2373〈伊藤〉



#### 〈会場ご案内〉

- 地下鉄「烏丸御池駅」下車、徒歩3分
- 阪急「烏丸駅」下車、徒歩7分
- 京阪「三条駅」下車、徒歩15分
- JR・近鉄「京都駅」から地下鉄へ
- 市バス「堺町御池」下車、徒歩2分



バハアカデミー関西